

霧島市の当初予算案が南日本新聞にありました。

過疎対策として山間地域への住宅建設に100万円の補助となっていますが、実効性があるとは思えません。

60歳未満、新築などの制限をつけずに中古住宅購入、アパート入居の家賃、敷金への補助をつければちょっとは効果があるかもしれません、

市内山間部とはどこかが明確には分かりません。

実効性のある施策であって欲しいです。

南日本新聞 平成25年2月15日

霧島市は14日、2013年度当初予算案を発表した。一般会計総額は530億1200万円で12年度当初比1・4%減。12年度は工業団地取得に20億円を充てており、その特殊要因を除けば、実質2・2%増となる。子育て環境の充実や観光業振興など四つの施策に重点を置いた。18日開会の3月定例市議会に提案する。	月額2千円を超えた小中学生の診療代を新たに助成するなど、子ども医療費助成事業に2億8894万円、いじめや体罰問題に対応するため専門相談員1人と支援室設置などに830万4千円を計上した。	このほか、市内の業者を利用し住宅をリフォームした場合に最大20万円補助する事業に5120万5千円、プレミアム付き商品券発行助成事業費1億800万円、大隅国建国1300年記念事業費4103万円など。
歳入では、市税が前年度比1%減の147億8217万8千円、地方交付税は同2・1%減の142億5千万円。	過疎や少子高齢化対策として、従来の市外からに加え、人口が集中する国分・隼人地区の平野部から市内山間部に移住し、住宅を建設した60歳未満の世帯責任者に最大100万円を補助する移住定住促進事業費3242万円を盛り込んだ。	14日は、15億7521万8千円追加、総額564億2469万9千円とする12年度一般会計補正予算案も発表した。

# 霧島市1.4%減530億円

13年度  
当初予算案  
子育て、観光重点